**観点別特色**

教科書名：Revised POLESTAR English ExpressionⅠ（104 数研 英Ⅰ/ 331）

Ⅰ 内容

本教科書の編集にあたっては，多様な言語活動を通して，基本的な言語規則を，自然な使用場面の中で習得させることを意図した。また，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養えるように配慮した。編集上，特に留意した点は以下の通りとなる。

(1) 学習者が実際に使いこなせるように，基本重要表現は使用場面が設定された対話文（Model Dialogs）の中で示した。

(2) コミュニケーション活動の機会が十分取れるように，各課の対話文にペア・ワーク（Pair Work）を1つ設定した。

(3) 即興で話す活動や，聞き手に簡潔に話す活動を３～４ページ目（Express Yourself, Real-World English）で適宜扱い，情報や考えなどをまとめて伝えることを実践できるようにした。

(4) 自然な英文が書ける（話せる）ように，書く（話す）活動においては文脈のあるモデル英文を示し，英語の論理が学べるように配慮した。

　(5) 英語による授業を円滑に進められるように，問題指示文等はなるべく英語で示した。

Ⅱ 全体の構成

A. 正課：1課4ページ/全22課構成で，1年間でひと通りの重要文法事項を学習できる内容とした。

　　・1ページ目：各課で学習すべきポイントを含む対話文と，その学習ポイントについての簡潔な解説，および補充例文で構成されている。また側注にはペア・ワーク（Pair Work）活動も用意した。**〈Input〉**

　　・2ページ目：1ページ目で学習した文法事項を定着させる練習問題を掲載した。「コミュニケ―ションを支えるもの」としての文法の役割を重視し，各問題には，当該の文法事項を必要とする文脈を極力与えるように配慮した。写真や絵〔状況〕を見て英語で表現する問題や，空所補充問題，語句整序問題，リスニング問題など，多彩な問題形式を扱った。**〈Practice〉**

・3ページ目：自己表現活動のためのページ。その課で扱う文法事項を含む30語～50語程度のモデル文をもとに，各STEPの指示に倣って英文を作成し，発表・プレゼンテーションまでの活動へと導く。**〈Output〉**

・4ページ目：リスニングから発展させる表現活動のページ。天気予報，宇宙開発，著名人のエピソードなどをテーマにした，その課で扱う文法事項を含むリスニング・スクリプトを聞いて質問に答え，それに関連した内容について書いたり話したりする活動。４技能を総合的に用いて，その課を締めくくることができるようにした。

　B. 巻頭要素・補充演習・巻末要素・見返しなど

　　・巻頭に「英語の基本―文とその要素」のページを設け，「英語の品詞について」「英語の文型について」「文の種類」を本課に入る前に学習できるようにした。

　　・数課ごとに，それまでの課で学んだ内容を復習できるREVIEWのページを2ページずつ設けた。またREVIEWの最後には，モデル文の型を応用して，自由英作文に取り組めるFOCUS ON THE FORMのコーナーを設けた。

　　・巻末に「パラグラフ・ライティング入門」として，英語の論理に合った自然な流れの英文を書ける能力を養うための解説を掲載した。また「Lesson別語いリスト」として，各課に出てくる重要語いや表現をまとめた和英リストを掲載した。

　　・見返しでは“Classroom English”と“English for instructions”を扱い，授業での使用が想定される英語表現，および教科書に出てくる英語指示文をまとめ，英語による授業が円滑に進められるようにした。

Ⅲ 表記・表現及び使用上の便宜

・脚注：意味の取りにくい語いの和訳やコロケーション，問題を解く上でのヒントなどを示した。

・各課の対話文（Model Dialogs）では，ペア・ワーク（Pair Work）として自分のことを表現できるように，対話文中の英文を適宜斜体字とした。

・各課の補充例文（Adding Variations）には，例文を暗唱用としても使えるように，英語の例文のすぐ後にその英文の和訳を併記した。

・リスニング問題がある箇所は，ヘッドフォンのマークで示した。

・個人で行う表現活動がある箇所は1人の人型のマークで示し，2人で行う表現活動がある箇所は2人の人型のマークで示した。

・巻末には「Lesson別語いリスト」を設け，各課の内容を読み，解き進めていく際に参考にできるように，課ごとに重要語いをリスト化した。